



第8回目 勤務助産師部会 「わいわいカフェ」

日時：令和4年4月23日10時～11時半

テーマ：「アドバンス助産師、
どう活躍していますか？」

《プログラム》

1. 開会、オリエンテーション
2. 自己紹介
3. 話題提供(1名)
4. 感想、意見交換、その他
5. 今後の兵庫県助産師の活動紹介

《勤務助産師部会活動予定》

・5月15日 総会、部会集会
(※詳細はホームページをご覧ください。)



《アドバンス助産師としての現状：施設によって活動内容や認知度は異なっている》

- ・アドバンス助産師として何をしたらよいのか、どう活動していけばよいのか、分からない。
- ・アドバンス助産師を取得している助産師が院内助産、分娩指導、学生指導、性教育をしている。
- ・病院のホームページに、アドバンス助産師について掲載している。
- ・助産師が入職を決める際には、アドバンス助産師の人数や活動を参考にして決めることもある。
- ・大学ではコアコンピテンシーについて説明している。
- ・アドバンス助産師を取得するためのグループを作った。



《アドバンス助産師を取得してメリットだと思われる点》

- ・アドバンス助産師を取得していく準備の過程で、色んな学習や学会受講が出来、バランス良く学べ、自己研鑽ができる。

《世間からのアドバンス助産師へのニーズは？》

- ・アドバンス助産師は、お母さんと赤ちゃんのためにつくられたシステムと資格である。
- ・やはり資格を持っている助産師に、ケアをやってもらいたいと思うのではないか。
- ・患者からアドバンス助産師のことを質問されることもある。
- ・アドバンス助産師という専門性と知識とスキルを持って活動していくことが求められていると思う。



《課題》

- ・周囲の人へアドバンス助産師のことを知ってもらいたい。現場で、どう活躍できるか。

《展望》

- ・アドバンス助産師は、パイオニアになる役割がある。アドバンス助産師の制度をみんなで育てていきましょう！

《アドバンス助産師を周囲へアピールするために出来ること》

名札にアドバンス助産師のカードを入れる・アドバンス助産師のバッジを付ける・アドバンス助産師と記載した名刺を活用する・白衣にアドバンス助産師であることを刺繍する・挨拶の際にアドバンス助産師であることを伝える・患者からの声の方が反映しやすいこともあるので意見箱を活用するなど

《感想》

- ・心新たに助産師の役割について考えることが出来た。お母さんへ名刺を渡して挨拶しているアドバンス助産師の姿を後輩が見て、かっこいいと思い、後輩が私もアドバンス助産師を取得したいと思ってもらえると嬉しい。